赤穂小学校だより　令和３年度　第２７号　令和４年１月１９日発行

くすの木

赤穂市立赤穂小学校
〒678-0239
赤穂市加里屋37番地
TEL 0791-42-2171
文責：北里　浩士

最近、「気になるもの」があります。自動車のナンバープレートです。いくらかの費用がかかりますが、自分の好きなナンバーを選ぶことができる…、と聞いたことがあります。このように…

○「２５２５」→いつもニコニコ笑顔で　　○「２９５１」→福（２９）来い（５１）
○「１９８５」→阪神タイガースのファン（理由は、ファンの方ならよくご存じ？）
○「３５８」→最近よく見かけます。謎の人気…、「３」も「５」も「８」も良い数字？

「１１７」と「３１１」を見ると、「阪神淡路大震災」や「東日本大震災」のことを考えて選ばれたのかなぁ…？　と考えます。さて、今年も１月１７日がやってきました。皆様の思いは、いかがなものでしょうか？

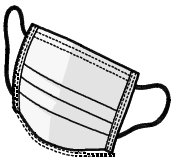
平成７年１月１７日のことです。（今から２７年前の阪神淡路大震災）

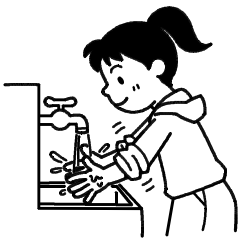
今から２７年前、平成７年１月１７日（火）、３連休の明ける日でした。朝５時４６分、下から突き上げられる、かつて経験したことのない揺れでした。

部屋の中の食器類、家具、テレビは、すべて飛ばされて壊れました。割れた食器を踏まないように、部屋の中でも靴を履いて移動しました。尼崎市の小学校に出勤すると…、教職員４０人のうち、出勤できたのは、私を含めた３名だけでした。メールが普及していない頃だったので、校門に立って、登校してきた児童へ「臨時休業」を伝えました。学校が避難所になり、火・水・木と３日連続で学校に泊まり込んだ記憶があります。学校のガラスは、５００枚くらい割れました。臨時休校の２日間、ずっと割れたガラスの処理をしていました。（児童が学校にいる時に地震が起きていたら…恐ろしくなります。）

震災発生から３日目、給食がありました。牛乳・パン・小魚のようなものが出されました。給食を担当された方へ「この混乱した時期に、よく準備できたなぁ…」と感謝の気持ちでいっぱいでした。避難所に配られた食事は、ご飯と塩昆布だけでした。十分なおかずはありませんでしたが、不平不満は一切ありませんでした。

…あれから２７年です。時間の経過とともに、震災の記憶が薄れつつあります。今週は、阪神淡路大震災のニュースも多いと思います。「命の大切さ」を振り返る機会になれば…と思います。





「緊急事態宣言」は出されていませんが…

現在、兵庫県には、「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」は発出されておりません。しかしながら、新型コロナの感染状況は厳しいです。１６日は、日曜日にも関わらず、兵庫県では、新規感染者数が過去最多となっております。昨年８月の「緊急事態宣言」発出中に似たような状況です。そこで、教育活動について、次のような制限を加えていきます。**（１月中）**

※２月以降につきましては、１月末に今後の方向性を協議していきます。

○委員会活動やクラブ活動を停止します。
○校外学習活動を停止します。
○校外からの講師招聘活動を制限します。
○特別クラブ（コーラス部、金管バンド）活動を停止します。
○参観日を中止します。

これ以外にも制限を加えるものがあります。

※PTA活動について、「児童と接点を持たない」「次年度に向けて決定を要する」ものは、実施する予定です。

急な変更でご迷惑をおかけいたしますが、ご理解をお願いいたします。